



賀正

皆様おすやかに佳き新春を
お迎えのこととお喜び申し上げます
昨年中はご厚愛とお世話になりました
今年もどうぞよろしくお願い申し上げます

平成二十七年元旦



- 平成26年度 工連・JIS協会合同忘年会
- 元気カンパニー「(株)沖縄ウコン堂」
- 平成26年度 第1回技術開発部会
- 平成26年度 オグレスビー氏奨学金交付式

県内唯一!

サッシ形材製造

秀 金秀アルミ工業株式会社

金秀雨戸



金秀アルミ

検索

沖縄の気候風土に合った製品を提供!

サッシ・
雨戸の事なら



金秀アルミに



お・ま・か・せ♪



ホテルオリオンモトブリゾート&スパ

**モトブオリオンリゾート&スパ、那覇新都心リュークスタワー、
リーガロイヤルグラン沖縄の施設等で我が社の製品が採用されています!**

那覇新都心に完成した地上30階建ての「リュークスタワーマンション」で採用されました主力製品「ハイパーサッシ」は、当社風洞試験において「96m/秒」相当の風圧に耐えられる事が実証されています。

秀

金秀アルミ工業株式会社

<http://kanehide-alumi.com/>

管理本部 098-835-8100

鋼建事業部 098-835-8101

軽金事業部 098-835-8102

contents

- 2p** 新年のご挨拶
- 3p** 公益社団法人沖縄県工業連合会役員名簿
- 4・5p** キラリ! 元気カンパニー「沖縄の北極星 ニュファブシ」
基幹作物有効利用で新しい産業を生み出す
株式会社沖縄ウコン堂
- 6・7p** 平成26年度 工連・JIS協会合同忘年会
- 8~11p** 年賀広告
- 12p** ちばりよ〜県産品
琉球ガラスをインテリアに
沖縄工芸の新たな形を作る
株式会社社恩納ガラス工芸育成センター
- 13p** 平成26年度 第1回技術開発部会
(公社) 沖縄県工業連合会
- 14p** 「学校と産業界の交流事業」活動報告
(公社) 沖縄県工業連合会
- 15p** 沖縄県工業技術センター研究成果発表会
沖縄県工業技術センター
- 16p** 故サムエル・C・オグレスビー氏第48回追悼式
(公社) 沖縄県工業連合会
- 17p** 平成26年度オグレスビー氏奨学金交付式
(公社) 沖縄県工業連合会
- 18p** 第31回 未来の科学の夢絵画展 表彰式
(一社) 沖縄県発明協会
- 19p** 雇用支援助成金&
事業主支援制度活用の相談実施中!
沖縄県商工労働部
- 20p** 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
高解像降雨レーダーによるゲリラ豪雨の観測
- 21p** 沖縄職業能力開発大学校
『海洋ロボットコンテスト・プレ大会』
最優秀賞AUV部門
- 22p** 沖縄高専だより
沖縄振興開発金融公庫と「産学連携に係る
協力推進に関する覚書」を締結しました
株式会社カヌチャベイリゾートと
「連携に関する協定」を締結しました
- 23p** 工業技術センターだより
どんな形でも自動で塗装できます!
ー 形状認識自動塗装装置の開発 ー
- 24p** トピックス
沖工連青年部会員募集
会員募集のご案内
会員の皆様へ

2014 DECEMBER 12 工連日誌

- | | |
|--|--|
| <p>3日(水) 12月定例執行部会
●時間/12:00~13:30 ●場所/工連会議室</p> <p>5日(金) 平成26年度第1回技術開発部会
●時間/14:00~16:00 ●場所/沖縄県工業技術センター</p> <p>9日(火) 工連・JIS協会合同忘年会
●時間/18:00~20:00 ●場所/沖縄都ホテル</p> | <p>10日(水) オグレスビー氏奨学金交付式
●時間/13:30~14:00 ●場所/沖縄県国際交流・人材育成財団</p> <p>19日(金) オグレスビー氏第48回追悼式
●時間/11:00~11:30 ●場所/那覇市泊外人墓地</p> |
|--|--|

特許等取得活用支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

- 知財専門家が窓口へ常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

秘密厳守

相談無料

個別対応のため予約が必要です



0570-082100 (有料)

窓口運営時間...8:30~17:15 (月~金) ※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申込ください。
※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖縄総合事務局委託事業 /
実施：一般社団法人沖縄県発明協会

☎ **098-921-2666**

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。
●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所 / 公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小嶺1831-1 沖縄産業支援センター6F
電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193
編集・印刷 / 有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

2015年 新年のご挨拶

新年おめでとうございます。

二〇一五年の新春にあたり謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

平素は、本会の事業運営に格別のご理解とご支援を賜り心から深く感謝を申し上げます。

昨年は大きな選挙が二つありました。十一月の沖縄県知事選挙では翁長雄志新知事が誕生しました。新知事は「沖縄二十一世紀ビジョン計画」を着実に推進し、経済基盤の強化と新たなビジネスモデルの構築に向けて強いリーダーシップを発揮されることを期待します。また、十二月の衆議院議員選挙で全国的には自民党が大勝した一方で、沖縄では小選挙区全てで自民党候補者が敗れるといった結果になりました。歴史的局面ともいえます。しかしながら、比例復活した議員

を含めると結果的には九人もの衆議院議員を沖縄から輩出することになり、見方によっては大きな「数」と「声」を確保したことで、発言力が強くなるともいえます。

さて、昨今の本県経済を述べると、観光分野では航空路線の拡充等によって入域観光客が好調に推移し、建設分野でも公共工事請負額が前年を上回るなど景気が拡大基調にあるとの景況があります。一方、製造業については、昨年十月に本会が会員企業を対象に行った企業経営調査によると、円安による燃料費・材料費の高騰、人手不足、消費税の価格転嫁問題などで未だ厳しい状況があるようです。アベノミクス効果は中小企業や地方経済にまだ届いていないというのが実感でしょう。ただ、政府は今後

「地方創生事業」を始めとして、地方の経済再生政策に全力を傾けるとしておりますので、それを大いに期待したいと思います。

本会は昨年、「県産品奨励事業」、「沖縄の産業まつり」を柱とした各種事業を実施しました。県産品奨励事業の一環で、「沖縄県工業製品の県内自給率向上がもたらす経済効果」について分析調査を行いました。調査結果では、県産品の自給率32.6%が3%及び6%に伸びた場合の生産誘発額、雇用者誘発数を試算すると、3%アップで各455億円、4.78人、6%アップで各920億円、9.64人という結果が出ています。これは非常に大きな経済効果です。本会は自給率を3%以上上げることは、十分達成可能な目標ととらえており、今後も県産品奨励事業を



公益社団法人
沖縄県工業連合会会長
湧川 昌秀

推進する指針としていく所存です。

沖縄の産業まつりは、会期中、天候に恵まれて、出展数、来場者数及び売上高とも過去最高規模となり好評でした。その他の事業として、人材育成事業では「新入社員研修セミナー」、「学校と産業界の交流事業」、技術支援では「県工業技術センターとの意見交換」などを実施しました。

本年も本県製造業の発展を通して、本県経済の発展及び県民の生活向上に貢献できるよう邁進する所存でありますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。結びに、会員の皆様、並びに関係各位にとりまして、ご多幸ある年となりますよう祈念し、新年のご挨拶と致します。

平成二十七年 年初

謹賀新年

公益社団法人 沖縄県工業連合会

会 長	湧 川 昌 秀	沖縄ガス(株)	理 事	大 坪 慎 治	沖縄県衣類縫製品工業組合
副 会 長	新 垣 昌 光	オリオンビール(株)	"	竹 内 一 郎	沖縄製粉(株)
"	仲 田 龍 男	オキコ(株)	"	山 城 宝	沖縄明治乳業(株)
"	古波津 昇	拓南製鐵(株)	"	比 嘉 昌 治	(株)沖縄ホーム
"	呉 屋 守 章	金秀アルミ工業(株)	"	岸 本 力	沖水化成(株)
"	知 念 克 明	沖縄電力(株)	"	大 江 聖 彌	琉球ガラス工芸協業組合
"	伊 仲 剛	琉球セメント(株)	"	高 橋 俊 夫	沖縄コカ・コーラボトリング(株)
事務局長兼 専 務 理 事	桑 江 修	(公社)沖縄県工業連合会	"	平良 正諭輝	沖縄県酒造組合
理 事	佐久眞 章	沖縄プラント工業(株)	"	島 袋 正 也	(株)久米島の久米仙
"	与那覇 正俊	丸正印刷(株)	"	吉 長 盛 信	沖縄ガルバ(株)
"	前 里 健 一	(株)まえさと	"	津波古 義秀	(株)技建
"	長 濱 徳 勝	沖縄ハム総合食品(株)	"	仲 本 幸 平	沖縄テクノクリート(株)
"	外 間 政 春	光文堂コミュニケーションズ(株)	"	崎 浜 敏 夫	金秀鉄工(株)
"	座間味 勲	(株)ざまみダンボール	"	比 嘉 希	大和コンクリート工業(株)
"	新 城 博	(株)トリム	"	佐久本 学	瑞泉酒造(株)
"	知 念 律 子	(株)ファッションキャンディ	"	宮 城 幹 夫	金秀バイオ(株)
"	澤 岷 カズ子	(株)お菓子のボルシェ	"	長 野 真 知	(株)沖縄ポッカコーポレーション
"	眞志喜 実	沖縄鑄鉄工業(株)	"	仲 松 政 治	(株)石川酒造場
"	大 城 勤	忠孝酒造(株)	"	仲里伸二郎	沖縄県工業連合会青年部
"	仲 本 勝 男	(株)仲善	監 事	濱 門 稔	エコインテック(株)
"	下 地 清 吉	(有)沖縄長生薬草本社	"	仲 村 朝 男	(株)名護鉄工所
"	屋嘉比 康則	昭和製紙(株)			

基幹作物有効利用で 新しい産業生み出す

株式会社 沖縄ウコン堂
代表取締役 仲程俊和



「さとうきびごはんの素」は、抗酸化成分・ポリフェノールも豊富な発酵バガスを使用することでおなかを元気に、体の酸化も防げると好評。



安心・安全テーマに
自社製造へこだわり

ショウガ科ウコン属の多年草でカレーに使われるスパイス（ターメリック）として世界的にも知られるウコン。肝臓の働きを助ける成分クルクミンや精油成分を豊富に含み、肝臓機能の促進、動脈硬化の改善、コレステロールの減少、便秘の解消、活性酸素の除去、ガンの発生・促進の抑制、健胃作用、ミネラル補給など様々な効果があるとされ、数ある沖縄の健康食品・成分の中でもポピュラーな存在となっていますが、ウコンに含まれる多くの有効成分が、健康増進やいろいろな病気の改善、解消、予防に役立つことが一般的に知られるようになったのはここ10年ほどのことです。

株式会社沖縄ウコン堂が創業した昭和62年にはウコンの名は現在ほど知られていませんでした。ウコンの効能にいち早く着目し、栄養補助食品として製造・販売をはじめました。創業当時は県外の力を頼ることが多かったものの、県産品として販売する事へのこだわりから、必要機材を揃えるなどの環境を整え、一貫生産ができるようになっていきます。

健康補助食品を扱うだけに、品質管理を重視しており、製造全工程の各所に検査を実施する独自の安全システムを構築。平成23年に健康補助食品GMP認証を、翌24年には健康食品安全性自主点検認証取得しています（日本健康・栄養食品協会）。

OEM製品も含め数多くの商品を製造



ニメファブシ(北極星)とは、航海の時、船の進むべき方向を照らし、教える重要な星ということ、「世の中の目標となる星にならさい。」という意味を持つ沖縄のことばです。



衛生・安全管理が行き届いた構内では、最新機器と人の手によって製品の出荷が行われています。



株式会社沖縄ウコン堂

業 種 健康食品の一貫生産、卸、小売販売及び受託加工
 設 立 昭和62年10月5日
 代 表 者 代表取締役 仲程俊和
 住所・連絡先 宜野湾市伊佐4丁目4-7
 098-890-7111
 オフィシャル http://ukondo.com/
 サ イ ト

これまででない成分・製造法・ 営業で沖縄県の健康食品業界牽引

ウコン関連商品のみならず、新しい素材や成分にも注目しています。平成25、26年度には、沖縄県委託事業健康食品産業元気復活支援事業にて、(株) 沖縄T.L.O.の

しており、沖縄県産 秋・春・紫ウコンを主にシヨウガ・クルクミンをバランスよく配合した「金の鬱金」、沖縄県産マンゴー果実酵母で発酵(特願2014-019891)、しよが粉末を加えた「琥金醗酵ウコン粒」などの健康補助食品を開発しています。「金の鬱金」は沖縄県工業技術センターとの企業連携共同研究支援事業における成果を活用した製品であり、様々な企業・団体の協力を得ての商品開発にも力を入れています。

支援を受け、これまでない独創的なビジネスモデルの構築にも取り組んでいます。そのなかで、県が抱える大きな社会問題である肥満・メタボリックシンドロームとその予防に該当する人々の増加を食い止めるため、食物繊維を豊富に含む爆砕発酵処理バガスに着目し、「さとうきびごはんの素」を開発しました。バガスは、さとうきびから砂糖や黒糖を絞った後の副産物ですが、非常に繊維構造が強固なため、食品としては、ほとんど使用されていませんでした。しかし、高温高圧下で一定時間置き、一気に大気圧まで戻して(爆砕処理)粉砕後、発酵処理を施すことで多機能性食物繊維(爆砕発酵処理バガス)が完成します。(株)琉球バイオリソース開発(特許第4678051)ビフィズス菌や乳酸菌など腸内の有用菌を増殖させる効果があり、ヒトでの試

飲試験にて、1日10gの爆砕発酵処理バガスを1週間摂取し続けた場合にビフィズス菌の占有率が摂取前と比較して3倍に増加した結果が認められています。そのバガスの効果を利用して開発された商品が「さとうきびごはんの素」です。食物繊維、キシロオリゴ糖、ポリフェノールを豊富に含み、「さとうきびごはんの素」をお米に混ぜて炊くだけで、毎日の食事で現代人に不足しがちな食物繊維をおいしくかつ手軽に摂取することができます。株式会社沖縄ウコン堂代表取締役仲程俊和氏は、「沖縄県の基幹作物であるさとうきびを総合利用することで、高付加価値化を狙いたい」として、「さとうきびごはんの素」普及に力を入れています。小売店舗を増やすだけでなく、県内のカフェやレストランと連携し、さとうきびごはんの素の周知に努めています。専用ダイヤルを

設置し、売上の一部が店舗に還元される独自のシステムを取り入れることで、新聞や雑誌の広告が中心だったそれまでのプロモーションとは異なるまったく新しい宣伝スタイルを確立しています。「健康補助食品の周知でもっとも重要なのは効果・効用をダイレクトにわかりやすく伝えること。料理人や観光客の体験を通してクチコミでさとうきびごはんの素魅力が伝わり、新しいムーブメントを引き起こすきっかけになれば」と話し、沖縄県における新たな産業創出への意欲も高めていました。

平成26年度 工連・JIS協会合同忘年会

(公社)沖縄県工業連合会と沖縄県JIS協会による合同忘年会が12月9日(火)開催され、会場となった那覇市の沖縄都ホテルには、両会会員をはじめ、国、県、流通業界、消費者団体関係者が集まり、親睦を深めました。

工業連合会・湧川昌秀会長、JIS協会・古波津昇会長が主催者を代表してそれぞれあいさつし、各会会員の一年間の労をねぎらうとともに、次年度以降のますますの発展を祈念しました。沖縄県経営者協会の安里昌利会長による乾杯の音頭ではじまった忘年会は今年度、国や県の表彰を受けた個人・企業への花束贈呈、毎年恒例となった抽選会などの催しもあり、例年以上の盛会となりました。

年間の労をねぎらうとともに、次年度以降のますますの発展を祈念しました。沖縄県経営者協会の安里昌利会長による乾杯の音頭ではじまった忘年会は今年度、国や県の表彰を受けた個人・企業への花束贈呈、毎年恒例となった抽選会などの催しもあり、例年以上の盛会となりました。



今年も会員企業の個人ならびに、企業の方々が各種受賞に輝き、表彰となりました。

平成26年度 各種表彰受賞者

個人表彰	受賞名	受賞者	会社名及び役職	主催
	沖縄県知事賞	大和なでしこサークル	大和コンクリート工業(株)	沖縄県
	沖縄総合事務局長表彰	系数 孝	琉栄生コン(株) 専務	内閣府沖縄総合事務局
	第43回沖縄県発明くふう展 優秀賞	高安 正勝	(株)ぬちまーす 社長	(一社)沖縄県発明協会
	オグレスビー氏工業功労者賞	高安 正勝	(株)ぬちまーす 社長	(公社)沖縄県工業連合会
	沖縄県労働基準協会会長賞 個人功労賞	比嘉 盛勝	リウコン(株) 専務	(一社)沖縄県労働基準協会
	オグレスビー氏工業功労者賞	下地 清吉	(有)沖縄長生薬草本社 社長	(公社)沖縄県工業連合会
企業表彰	沖縄県調理技能競技大会 日本料理部門 単品の部 奨励賞	平良 仁嗣	(株)近鉄ホテルシステムズ 沖縄都ホテル 和食担当	沖縄県職業能力開発協会
	沖縄労働局長表彰 優良賞	豊里 友彦	大和コンクリート工業(株) 社長	沖縄労働局
企業表彰	モンドセレクション 最高金賞	高安 正勝	(株)ぬちまーす 社長	モンドセレクション協会



【主催者挨拶】
沖縄県工業連合会
湧川 昌秀 会長



【主催者挨拶】
沖縄県JIS協会
古波津 昇 会長



【乾杯の挨拶】
沖縄県経営者協会
安里 昌利 会長



【閉会の挨拶】
沖縄県工業連合会
新垣 昌光 副会長



新規会員の紹介では、ガラス工房 長七屋 代表の坂本長七氏より、沖縄への熱い思いが語られました。



毎年恒例の「景品抽選会」では、各企業の県産品が数多くプレゼントされました。

景品寄贈企業

合同忘年会を開催するにあたり、下記企業各社に商品などの寄贈を賜りました。誠に有り難う御座いました。

(株)近鉄ホテルシステムズ 沖縄都ホテル
沖縄テクノクリート(株)
(株)仲善
(資)沖縄関ヶ原石材
(株)沖縄県物産公社
石垣焼窯元
沖縄県酒造協同組合
沖縄明治乳業(株)
沖縄ガス(株)
(株)オウ・ティ・ケイ
金秀バイオ(株)
(株)JAL JTAセールス
拓南製鐵(株)
拓南伸線(株)
オリオンビール(株)
琉球セメント(株)
沖縄プラント工業(株)
ホテルロイヤルオリオン
沖縄ハム総合食品(株)
ガラス工房 長七屋
(株)ぬちまーす
東洋コンクリート(株)
(株)日進商会
沖縄コカ・コーラボトリング(株)
(株)ホクガン
(株)琉球銀行

リウコン(株)
(株)りゅうとう
沖縄県酒造組合
(株)沖縄ポッカコーポレーション
(株)名護鉄工所
大同火災海上保険(株)
オキコ(株)
(株)アドスタッフ博報堂
(株)シュアナチュラル
フォーモストブルーシール(株)
琉球ガラス工芸協業組合
沖縄テレビ放送(株)
久米仙酒造(株)
(株)沖縄先端加工センター
琉栄生コン(株)
(株)技建
沖縄水工事(株)
沖縄電力(株)
瑞穂酒造(株)
(株)EM研究機構
(株)比嘉酒造
(株)沖縄ホームル
(株)ざまみダンボール
(株)石川酒造場
丸正印刷(株)
(株)サン食品

(株)トミコン
沖水化成(株)
金秀鋼材(株)
全日本空輸(株)沖縄支店
(株)沖縄産業振興センター
久米島海洋深層水開発(株)
新城工作所
沖縄ツーリスト(株)
ホテル日航那覇グランドキャッスル
(株)スカイ企画
(株)久米島の久米仙
沖縄県生コンクリート協同組合
金秀アルミ工業(株)
(株)沖縄工
ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
光文堂コミュニケーションズ(株)
(株)拓琉金属
(株)オカノ
沖縄製粉(株)
(有)沖縄長生薬草本社
大野産業(株)
新報トラスト(株)
(株)まえさと
(株)サンデン企画

Orion

麦芽100%贅沢なうまさ
季節限定醸造 オリオンいちばん桜

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響を与えるおそれがあります。お酒は、おいしく、適量に。

旧年中は格別のお引き立てを賜り
厚く御礼申しあげます
本年もご愛顧の程お願い申し上げます

沖縄天然コスメが一同に揃う店内で
ゆっくりとお買い物をお楽しみください。

無料
エステ体験
実施中

琉球コスメハウス

(株)ポイントビュール直営店
TEL. ☎0120-612-361

沖縄県那覇市安里2-5-23(安里十字路沿い)
■営業時間 10:00~19:00(定休日:隔週日曜)
■駐車スペース10台完備

赤い看板が目印
RYUKYU COSME HOUSE
安里十字路
琉球コスメハウス
安里十字路
琉球コスメハウス
安里十字路

ハイウェイ沖縄

新春

大切にします。沖縄の味！

① 沖縄製粉株式会社

代表取締役会長 竹内 聡
代表取締役社長 竹内 一郎

〒900-0035 沖縄県那覇市通堂町1番1号
TEL (098) 868-3141 FAX (098) 868-8279
<http://www.okifun.com>

沖縄県知事許可(般・22) 第9913号

株式会社 電装技研

キュービクル・制御盤 電気工事
配分電盤・計装盤・製作販売

代表取締役 渡慶次 道安

〒903-0113 沖縄県中頭郡西原町安室41番地
TEL (098) 946-6591 FAX (098) 946-6594 E-Mail dsgk2000@lime.ocn.ne.jp

卓越した味わいを皆様の食卓へ。



株式会社 沖縄ホーナル

代表取締役社長 比嘉 昌治

ビニールパイプ
ポリエチレンパイプ 製造販売

県産品を愛用しましょう。

沖水化成株式会社

代表取締役社長 岸本 力

本社 〒904-2162 沖縄市海邦町3-14
TEL (098) 982-1371 FAX (098) 921-2336

meiji
明治グループ

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 沖縄県浦添市牧港1-65-1 TEL (098) 877-5274

人と人をつなぐ 幸せを、いつまでも。

KOBUNDO
Communications



光文堂コミュニケーションズ(株)

本社
〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577番地
TEL 098-889-1131
東京支店
〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目5番12号 ABEビル6階
TEL 03-3239-8900
<http://www.kobundo.net>



マンホール鉄蓋で郷土の環境作りに奉仕する

沖縄鋳鉄工業株式会社

沖縄県リサイクル資材評価認定
マンホール鉄蓋 第17-1号 再生プラスチック 第11-2号



代表取締役

眞志喜 実

西原町字小那覇958番地
TEL (098) 945-5453 FAX (098) 945-5924

十午貯蔵古酒。 琉球地産 梅乃邦 数々の国際賞受賞。

87モンド・セレクション金賞受賞(ベルギー)
89ザ・インターナショナルワインスピリット
コンペティション金賞受賞(イギリス)
89クリオ・アウォーズ金賞(パッケージング)
デザイン賞受賞(アメリカ)
泡盛酒協会県産品賞受賞

原材料/米こうじ 720ml アルコール分/25度
原材料/米こうじ 720ml アルコール分/43度

沖縄県酒造協同組合 ☎0120-43-94-92 <http://www.awamori.or.jp>



ダンボール・パッケージの

総合紙器

(098) 992-1111

謹賀新年
旧年中は格別のお引き立てを賜り
有り難うございました。
本年も風球泡盛 残波を
宜しくお願い申し上げます。
平成十七年新春



有限会社 比嘉酒造
URL <http://www.zanpa.co.jp>

お酒は20歳未満者から、ストップ飲酒運転、妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響するおそれがありますので、気を付けましょう。

旧年中は格別のお引き立てを賜り
厚く御礼申しあげます
本年もご愛顧の程お願い申し上げます

- オキボール ● 沖縄ハイボール ● 照明・防球ネット用ボール
- 防災無線・携帯電話アンテナ用ボール ● ボール建柱工事施工一式
- 都市景観美化用コンクリート製品全般 ● PHC・CPRCパイル
- 高支持力杭工法及び各種杭工法の施工 ● C.C.BOX (電線共同溝)
- その他地中化製品 ● テールアルメ工法 (補強土壁工法)
- プレキャスト製品の設計・製造販売・施工

コンクリートテクノロジーの未来をみつめて
沖縄テクノグリーント株式会社

代表取締役社長 仲本 幸文

本 社 〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地 TEL.(098) 868-2522
海邦工場 〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL.(098) 934-5512

信頼で創るより良い環境

電気設備工事・電気通信工事・消防施設工事 施工

 **沖 電 水 工 事 株 式 会 社**

代表取締役 小 波 津 聡

 本 社 〒900-0016 那覇市前島2丁目1番10号
T E L (098)-867-6311(代) FAX(098)-868-3282

SUN
PRINTING CO., LTD.

心を動かす彩がある

代表取締役社長 宮 城 剛

 有限会社 **サン印刷**

〒901-1111 沖縄県南風原町字兼城577
TEL 098-889-3679 ・ FAX 098-889-4282

頑張る

拓南製鐵株式会社

代表取締役
古波津 清昇

那覇市字豊川三丁目二番地四
電話(〇九八)八三二一〇五八八
FAX(〇九八)八三二一〇五八八

琉球セメント株式会社

代表取締役
西村 聰

〒901-2123 浦添市西洲二丁目二番地二
電話(〇九八)八七〇一〇八〇
FAX(〇九八)八七〇一〇八三

沖縄ガス株式会社

代表取締役
宮城 諒

沖縄県那覇市西三丁目三番二
電話(〇九八)八三三〇七三〇
FAX(〇九八)八六三二一七七四

株式会社オカノ

代表取締役
與儀 盛輝

那覇市安謝一丁目三番八号
電話(〇九八)八六八〇二九三
FAX(〇九八)八六八〇六九六

拓南製鐵株式会社

代表取締役
古波津 昇

那覇市字豊川三丁目二番地四
電話(〇九八)八三二一〇五八八
FAX(〇九八)八三二一〇五八八

株式会社佐喜眞義肢

代表取締役
佐喜眞 保

金武町字金武一〇九一四
電話(〇九八)九八二一五七七
FAX(〇九八)九八二一五七七

沖縄電力株式会社

代表取締役
大嶺 満

〒901-2602 沖縄県浦添市牧港五丁目二番一
電話(〇九八)八七七一三三三
FAX(〇九八)八七七一三三三

株式会社あきさん

代表取締役
富永 進

〒904-0202 嘉手納町字屋良一〇二二
電話(〇九八)九五六一二三八
FAX(〇九八)九五六一八八九

リウコ株式会社

代表取締役
大城 正治

西原町字小那覇二一八七番地
電話(〇九八)九四五一三七七八
FAX(〇九八)九四五一五〇六五

株式会社お菓子のポリシェ

代表取締役
澤岬 カズ子

読谷村字字座六五七一
電話(〇九八)九八七三三三三
FAX(〇九八)九八七三三三三

株式会社 沖電工

代表取締役
大嶺 克成

〒900-0025 那覇市豊川二丁目十一番地十一
電話(〇九八)八三五一九八八
FAX(〇九八)八三五一三六二七

大同火災海上保険株式会社

代表取締役
上間 優

〒900-8586 沖縄県那覇市久茂地一丁目十二番一
電話(〇九八)八六七一六一
FAX(〇九八)八六七一五七一

株式会社青い海

代表取締役
又吉 元栄

糸満市西崎町四一五一四
電話(〇九八)九九二一一四〇
FAX(〇九八)九九二一一四〇

リユーセロ株式会社

代表取締役
知名 洋

糸満市西崎町四丁目九番地の四
電話(〇九八)九九二一一二二(代表)

株式会社ポイントピュール

代表取締役
大道 敦

〒901-3104 沖縄県島尻郡久米島町字真謝四八六一二
電話(〇九八)八六六一八七〇二
FAX(〇九八)八六六一八七〇二

琉球協同飼料株式会社

代表取締役
桑江 良一

南風原町字津嘉山一四七一の三
電話(〇九八)八八九一〇五〇〇
FAX(〇九八)八八九一〇五〇〇

琉球ガラス工芸協業組合

代表理事
大江 聖彌

糸満市字福地一六九番地
電話(〇九八)九九七四七八四
FAX(〇九八)九九七四九四四

沖縄銀行

頭取 玉城 義昭

沖縄県那覇市久茂地三丁目十一
電話(〇九八)八六七二二四一
FAX(〇九八)八六七二二四一

長嶺電機株式会社

代表取締役
長嶺 義貢

〒901-2134 沖縄県浦添市港川五二二二八
電話(〇九八)八七八二二二二
FAX(〇九八)八七八二二二二

株式会社沖縄ホーム

代表取締役
比嘉 昌治

〒901-2406 沖縄県中城村字当間七五八番地
電話(〇九八)八九五三三三一
FAX(〇九八)八九五三三三一



ちばりよ〜県産品

株式会社 恩納ガラス工芸育成センター

●本社／恩納村字富着85番地
TEL 098-965-3090・FAX 098-965-5841
<http://www.onna-glass-okinawa.co.jp>



琉球ガラスをインテリアに 沖縄工芸の新たな形を作る

ガラス工芸体験で知られ、観光スポットとしても人気の恩納ガラス工芸育成センター。琉球ガラスアーティスト宮國次男氏が手掛けるアートガラス作品が並ぶ中、ひととき目を引くのがインテリア作品を展示する一角です。

琉球ガラスというと、グラスや皿など小物として使われる印象が強い沖縄県産品のひとつですが、宮國氏は、土産品としてだけではなく、インテリアとして生活の一部に加えることを提唱。インテリアの素材とするための大型琉球ガラスを開発。扉や窓ガラスなどの大きなものから洗面ボウルやパウダーアークセサリーといった個性的なものまで幅広く展開しています。

宮古島の漁師の家庭に9人兄弟の次男として生まれた宮國氏。決して裕福ではない生活の中で、兄の影響を受けガラス製品制作と出会い、以後現在まで数百もの作品を世に出してきました。海外へも頻繁に足を運び、世界各国のアートガラスを見てきた経験が琉球ガラスを用いたインテリアの着想を生んだといいます。

「ドイツ、シンガポール、台湾と渡り歩き、沖縄よりもさらに進化した最先端のガラス作品に感銘を受けました。美

しい絵画を壁に飾るのもよいでしょうが、ガラスはその日の天気や光の当たる角度によって色合いや柄の見え方がまるで違うものです。これまでのようなキッチン雑貨としてだけでなく、建築アクセサリーとしてより身近な存在になるよう周知していきたいと考えたのです」

新製品開発にも力を入れており、今年からは外からは見えにくく、光の入りやすいアートガラスを開発。カーテンいらずの新しいインテリアとして注目を浴びています。

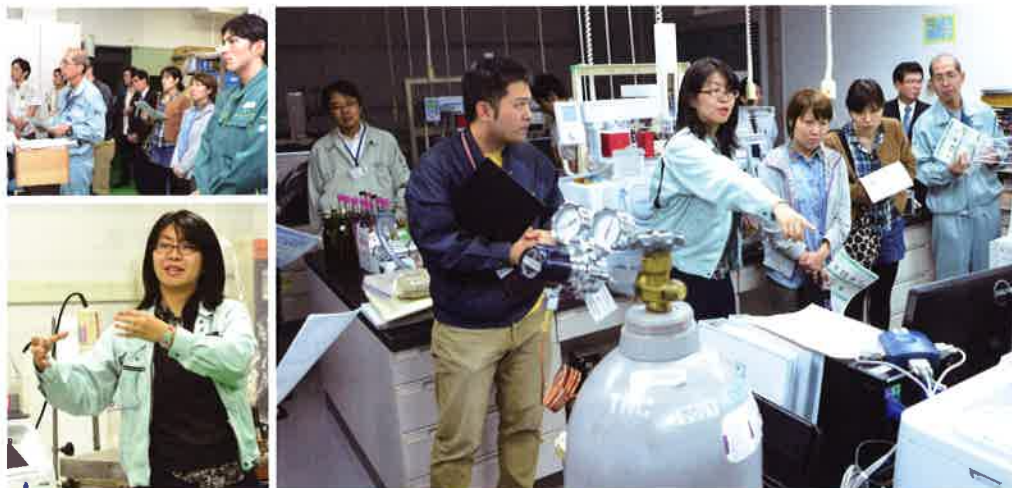
「生活の中にほんの少しアートを加えるだけで心が豊かになります。沖縄の自然や自身の思い出をガラスの模様にして毎日眺めることで幸福を味わってほしい。そんな思いで一枚一枚ていねいに制作しています」

宮國氏のアートガラスインテリアはリゾートホテルのレストランで施行される他、一般家庭でも使用されており、県内ばかりでなく、北海道から九州まで全国各地から注文が殺到しています。今後さらにアートガラスインテリアを広めていくのと同時に、自らの後を継ぐ後進の育成にも励みたいと宮國氏は熱意をこめて話していました。



アーティストとしての数々の実績と、琉球ガラスの先駆者として歩んできた、宮國次男氏の作品には、自然をモチーフにさりげなくデザインされています。

平成26年度 (公社)沖縄県工業連合会 技術開発部会
**県工業技術センター新機器等の
 見学並びに情報・意見交換会**
 平成26年12月5日(金) 沖縄県工業技術センター



新機器の見学では、沖縄県工業技術センター玉村研究員の説明による機器の取扱実演もありました。



意見交換会では、参加企業からの各種質問に対し、業態別に具体的なアドバイスが同センターの専門研究員により示されました。

地域企業と沖縄県工業技術センターとの連携をより一層深め、最新機器に関する知識を得るため、センターに新たに設置された機器等の見学を行うとともに、センターの概要説明や今後の活用・連携についての意見交換会が開催されました。

玉寄将技術開発部会副部長(株式会社開邦工業代表取締役社長)をはじめ、県内各企業・団体から多くの参加があり、うるま市の沖縄県工業技術センターにて新機器見学・意見交換が行われています。

沖縄県工業技術センターは地域技術の先導的研究機関として県の自立的経済発展を担い、製造業の技術支援や先端的研究に取り組むことを目的に建設された施設であり、開かれた研究機関として地域技術を牽引しています。

地域企業の研究開発・技術開発を支援して、地域のイノベーション促進に繋げるため施行された平成25年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」によって試験研究・検査設備が導入されており、沖縄県工業技術センター技術支援スタッフによる説明を受けながら、平成25年度に導入された機器を見学しました。水分活性を測定する装置「ポータブル水分活性測定装置」や気流によって試料を衝突させることで粉碎する乾燥素材向けの粉碎装置「気流式粉碎機」等の最新機器が持つ画期的なシステムや効果に参加者は大きな関心を示しています。

した。なお、平成26年度には「特定フレイバー定量・訂正分析評価システム」や「シエルライフ延長対応試験システム」といった機器の追加導入も予定されており、さらなる技術力向上が期待されています。

見学終了後は同センター会議室にて情報・意見交換会場の設けられ、玉寄副部長の進行により、今後の連携等について活発な意見交換が行われました。施設・機器等に関する質問にセンター技術支援班比嘉賢一班長が答える場面もありました。ディスカッションの中で、地域企業とセンターとの距離も縮まり、双方の連携による今後の県内企業の技術力向上ならびに産業発展に繋がる貴重な時間となりました。



公益社団法人沖縄県工業連合会

「学校と産業界の交流事業」活動報告!

沖縄県工業連合会では平成17年度より、会員の企業経営者や技術者等を教育現場に派遣して産業講話を行う「学校と産業界の交流事業」を行っています。食品、リサイクル、鉄鋼・金属、エネルギー、窯業、縫製、関節装具、琉球ガラス、弁理士等の事業を営む14社から社長や役員、技術者等が講師登録しています。これまでの10年間で小中学校、高校、大学、高専、職業訓練校など累計113校で延べ15,355名の児童生徒・学生・保護者・先生を対象に講話を行い「ものづくりの楽しさ、働くことの大切さ」を伝えています。

年度別実績

- 平成17年度 4校 190名 ●平成18年度 8校 1,000名 ●平成19年度 21校 3,971名
- 平成20年度 14校 2,068名 ●平成21年度 19校 2,505名 ●平成22年度 4校 353名
- 平成23年度 5校 941名 ●平成24年度 8校 1,219名・県工業教育研究会100名
- 平成25年度 19校 2,303名・県工業教育研究会100名
- 平成26年度 7校 415名・県工業教育研究会90名・県高等学校家庭科教育研究会100名

今年度もこれまでに小学校2校、中学校1校、高等学校4校等で産業講話を行いました。下記に活動実績を報告します。

実施日	学校・組織名	講師(敬称略)
5月19日(月)	沖縄県工業教育研究会	沖縄ガス(株) 新エネルギー開発部長 大城 邦夫
6月3日(火)	嘉手納町立嘉手納小学校	(株)トリム 会長 新城 博
6月30日(月)	県立八重山商工高等学校	(株)ぬちまーす 社長 高安 正勝
7月3日(木)	県立沖縄工業高等学校	福島特許事務所 所長 福島 康文
7月3日(木)	与那国町立比川小学校	オキコ(株) 事業部長 渡久山秀治
7月11日(金)	南城市立久高中学校	(株)佐喜真義肢 社長 佐喜真 保
7月23日(水)	沖縄県高等学校家庭科教育研究会	(株)赤マルソウ 社長 座間味 亮
10月23日(木)	県立那覇工業高等学校	(株)恩納ガラス工芸育成センター 会長 宮國 次男
11月13日(木)	県立本部高等学校	琉球セメント(株) 専務・工場長 中村 秀樹

【講師をお引きうけいただきました皆様には心から感謝いたします。ありがとうございました。】



受講した子供達の声(一部)

特許という言葉聞いたことはあったけど、今回の講演を聞いて少しは分かった・講師の心温まるお話に勇気がわいてきました・印象的だったことは、実際に装具をつけてみたことです。思ったより軽くて、通気性があり、歩きやすかったです・講師の先生が「夢を持続してあきらめないこと」と話したことが心に残りました・講話を聞いて何にでもチャレンジすることを学びました・自分に技術を持つことが大切なことがわかった・セメント工場がリサイクルに適していることがびっくりした・塩を作るのに必要な装置を自分で考えていることに驚きました・企業側の意見を聞く機会が少ないのですごく勉強になりました(教諭感想)

※「学校と産業界の交流事業」では講師を会員の皆様から随時募集しています。経営者等の自薦又は適任者の推薦をお願いいたします。

※「学校と産業界の交流事業」のスタート時から講師として参画し、ご尽力いただきました(株)なかむら食品の仲村正雄社長が12月9日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

事務局 TEL:098-859-6191 担当: 仲間

平成26年度

工業技術センター研究成果発表会

平成26年12月16日(火) 沖縄県工業技術センター



【特別講演】
(一社)北海道食産業総合振興機構
(フード特区機構)
佐川泰隆 事務局長

【食品・科学分科会】

ウコンを用いた錠剤成型に関する研究
食品・化学研究班 鎌田靖弘 主任研究員
春ウコン精油における特徴成分の探索
食品・化学研究班 照屋盛実 主任研究員
微生物類分蔵株の脂質生産性と未利用バイオマスを用いた培養方法の検討(仮)
食品・化学研究班 望月智代 主任研究員
好アルカリ性細菌による光学活性有機酸の生産
食品・化学研究班 世嘉良宏斗 研究員
沖縄県産バイオマスを利用したPHBの製造とその展開
食品・化学研究班 世嘉良宏斗 研究員
甲南加工株式会社 桑 隆生 課長代理
丸米を用いた泡盛製造の安定化の検討
技術支援班 豊川哲也 主任研究員
貯蔵泡盛の酒質に関する研究(古酒特徴成分の探索)
技術支援班 玉村隆子 研究員

【生産技術分科会】

形状認識自動塗装装置の開発
生産技術研究班 山内章弘 主任研究員
車いす乗降用後付けスーパーフロアの開発
生産技術研究班 羽地龍志 主任研究員
与那原町赤瓦原材料(クチャ)埋蔵量調査
生産技術研究班 赤嶺公一 研究員
島嶼型発電用高効率タービンの開発
生産技術研究班(金型技術研究チーム)
泉川達哉 主任研究員

【技術支援事例】

削り出しによる試作品の製作
技術支援班 金城洋 研究員



会場では研究成果についてのパネル展示もあり、また、特別講演では「北海道食品機能性表示制度」の認定を受けた商品事例の紹介もありました。



食品・科学分科会ならびに生産技術分科会での発表には、多くの企業担当者が参加され、活発な意見交換も行われました。

沖縄県工業技術センターにて、同センターによる研究成果発表会が開催されました。

センターでは企業の新製品開発や技術力強化のための開発研究及び技術支援に取り組んでおり、県の重点産業や製造業のものづくりの基盤となる産業技術の高度化を支援しています。この度開催された研究成果発表会では、県内産業界への技術移転促進を図るため、平成25年度までに実施した研究・技術支援成果が公開されました。

発表には食品・科学分科会、生産技術分科会と2つの会場に分けられ、食品・科学分科会では「ウコンを用いた錠剤成型に関する研究」や「春ウコン精油における特微成分の探索」、「未利用バイオマスを用いた油糧微生物の培養に関する研究」等があり、生産技術分科会では「形状認識自動塗装装置の開発」、「車いす乗降用後付けスローバーの開発」、「与那原町赤瓦原材料(クチャ)埋蔵量調査」等の研究成果及び支援事例発表が行われました。

主な会場となった講堂には、研究資料や研究によって製造されたウコン顆粒等の製品が展示されるなど、参加者が実際の製品に触れながら最先端技術の知識を得るための工夫も凝

らされていきました。

また、フード特区機構(一般社団法人北海道食産業総合振興機構)事務局長佐川泰隆氏を講師に招いて、北海道で進められている「北海道食品機能性表示制度」の概要と取り組みに関する特別講演も行われています。

平成23年に日本で唯一「食」の国際戦略総合特区として国の指定を受けた北海道における地域の特性を活かした高付加価値の商品開発と食関連産業振興のプロセスは沖縄県にとっても貴重なモデルケースであり、参加者は大いに関心を引かれたようでした。

沖縄県工業技術センターと座談所長は、「センターの最新機器と技術力を活かした研究を県内産業の活性化へ繋げることができれば」とし、よりいっそう研究に力を注ぎたいと話しています。発表会には県内企業からの参加者も多く、多彩なテーマによる研究内容に興味を示しており、沖縄県工業技術センターにおける本年度の研究成果を広く周知させ、センターはもちろんのこと、各企業のネットワークを広げる有意義な時間となりました。

故サムエル・C・オグレスビー氏 第48回追悼式

第二次世界大戦終焉後の沖縄に赴任し、米国民政府経済局次長として沖縄県の産業振興に尽力したサムエル・C・オグレスビー氏を偲ぶ追悼式が12月19日(金)に那覇市泊の国際墓地で行われました。

沖縄に勤務した16年の間、製糖、パイナップル振興に着手するなど沖縄の経済、特に工業の振興に献身的に尽くしたオグレスビー氏は1966(昭和41)年12月20日に逝去。享年55歳でした。「沖縄に埋葬してほしい」という遺言によって、遺体は泊国際墓地に埋葬されました。

追悼式には工業連合会関係者をはじめ多くの人々が参列し、現在の沖縄産業の基盤を作り上げたオグレスビー氏の功績に対する感謝と尊敬の念を込め、顕彰墓碑の前で手を合わせ、賛美歌を斉唱しました。工業連合会湧川昌秀会長は、「米国占領政策下の沖縄で地元の人々の立場になり強い意志と行動力を示してくれたオグレスビー氏の存在なしに今の沖縄はない」として、故人の遺志を継いで未来の沖縄産業を発展させるため努力を惜しまないことを墓前で誓いました。



沖縄産業の恩人
サムエル・C・オグレスビー
(1911～1966)



挨拶を述べる
湧川昌秀 会長



参列者全員の賛美歌斉唱と追悼の祈りをもって式が厳かに執り行われました。



祈りを捧げる
那覇バプテスト教会
国吉守 主任牧師



桑江修 専務理事



オグレスビー顕彰墓碑

サムエル・C・オグレスビー氏は、1911(明治44)年10月25日、アメリカ合衆国バージニア州で生まれ、1933(昭和8)年、メリーランド大学博士課程を卒業します。

1942(昭和17)年米国陸軍に従軍し、1945(昭和20)年3月には、米陸軍政府将校として来沖し、その後エール大学で極東問題と日本語の研鑽を積みました。

同氏は、1950(昭和25)年3月、第二次世界大戦終焉の激戦地として灰燼と化した沖縄に米国民政府職員として赴任され、沖縄の良き理解者として沖縄の経済、特に工業の振興に献身的に尽くされました。沖縄勤務の16年間、琉球工業連合会(現沖縄県工業連合会)のよきアドバイザーとして深くかわり多くの産業を育てました。

製糖、味噌醤油、食油、ビール、セメント、鉄筋、合板、菓子類に至る各製造業の90%は同氏の後援・指導を受けました。

1963(昭和38)年5月21日に琉球工業連合会は創立10周年を迎え、これを記念して、会員の芳志を募り、オグレスビー氏の胸像を制作することを決定しました。

やがて、胸像が完成し、翌年1964(昭和39)年12月2日、贈呈式と祝賀会が行われました。

その2年後、1966(昭和41)年12月20日、オグレスビー氏が逝去。

「沖縄に埋葬してほしい」との遺言により、泊国際墓地に埋葬されています。

1967(昭和42)年オグレスビー氏の長年の功績を記念して、「オグレスビー氏産業開発基金」が設立されました。

同基金では毎年、沖縄の工業発展に著しく功績のあった方に「オグレスビー氏工業功労者賞」の授与と工業高校・沖縄高専の学生に奨学金を支給しています。

平成26年度 オグレスビー氏奨学金交付式

平成26年12月10日(水)

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団



美里工業高等学校
〔調理科〕
上江洲虹歌さん



浦添工業高等学校
〔情報技術科〕
松本勇志さん



当会を代表して桑江専務理事(写真右)より、
(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団:大城
理事長(写真左)へ奨学金が贈呈された。

戦後、米国占領下の沖縄で産業振興に尽力し、沖縄産業の恩人と呼ばれ現在でも多くの人々に影響を与えている故サムエル・C・オグレスビー氏にちなみ、昭和50年(1975年)、オグレスビー氏産業開発基金が設立。次代を担う工業人育成を目的とした「オグレスビー氏奨学金制度」において、沖縄県内の高等学校工業関係の学科に在学中の生徒を対象に毎年奨学金が交付されています。心身健全、志操堅固、学業優秀で、経済的に学資の支出が困難な学生に学資の一部を支給するものであり、今年度は美里工業高校の上江洲虹歌さん、浦添工業高校の松本勇志さんの2名が選出。宜野湾市の公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団にて交付式が執り行われました。

上江洲さんは調理師免許取得を目指して家庭科学習に励んでおり、「食を通じて沖縄県民の健康をサポートし、学校で学んだ知識や調理技術を長寿県復活のため役立てることができれば」とし、「将来は沖縄電力に就職したい」という松本さんは「大学に進学し、専門技術を身に着けると同時に、自分の個性に合った仕事内容や資格を模索したい」とそれぞれ夢を語りました。

沖縄県国際交流・人材育成財団大城理事長は「おふたりとも明確な夢を持っていて非常に頼もしい。夢に向かって邁進してほしい」と奨学生を激励しました。



美里工業高等学校
松島寛尚校長(写真右)
上江洲虹歌さん



浦添工業高等学校
與那覇強校長(写真左)
松本勇志さん

また、沖縄工業連合会桑江専務理事も出資者を代表して挨拶を述べました。桑江専務理事は、第二次世界大戦終焉後の沖縄に米国民政府職員として赴任され、沖縄県の経済、特に工業の振興に献身的に尽くすことで多くの産業を育てたサムエル・C・オグレスビー氏の功績について解説し、氏亡きあとも「オグレスビー氏奨学金制度」を通じて優れた産業人が育つことの意義を学生に向けて話し伝えました。

桑江専務理事、大城理事長から目録を受け取り、記念写真撮影やテレビ取材も受けた上江洲さん、松本さんのふたりはやや緊張した様子でしたが、援助を受ける喜びと感謝を述べ、奨学生の名に恥じぬようそれぞれ勉学に励むことを誓いました。

第31回 未来の科学の夢絵画展表彰式

平成26年12月20日(土)

沖縄県立博物館・美術館講堂

次代を担う子どもたちが未来の科学の夢を自由な発想で表現すること、科学的な探究心と想像力の伸長を図ることを目的として開催されている未来の科学の夢絵画展が今年も行われ、応募作品の中から特に優れた作品が表彰されました。

本年度の受賞作として、沖縄県教育委員会教育長賞に泊小学校2年赤嶺優貴くんの「雨雲・雷雲・嵐すいとるソウ」、糸満南小学校3年上原一路くんの「近未来の無人飛行機消防救急システム」が選出されています。2014年の日本は様々な災害に見舞われ、東日本大震災の復興もいまだ完全とはいえない状況の中、防災や人命保護をテーマとした作品が多く見

られました。その他、那覇市長賞に與儀小学校4年津波古麻衣さんの「生ゴミクイナ」、泊小学校5年上江洲朋子さんの「にじ色花ライト」、沖縄県発明協会会長賞として、若狭小学校1年知念学歩くんの「コピースプレー」他5作がそれぞれ選ばれました。

審査にあたり、画家で沖展会員でもある大城護氏は、「未来への希望を感じさせる素晴らしい作品ばかりだった」と感想を述べました。沖縄県発明協会新垣昌光会長も、「子供たちの創造する力に感銘を受けた」と受賞作を称え、受賞者に激励の言葉を送りました。2014年度は青色発光ダイオード(LED)を開発した赤崎勇氏(名城大教授)、天野浩氏(名古屋大学教授)、

中村修二氏(米カリフォルニア大サンタバーバラ校教授)がノーベル物理学賞を受賞し、日本の科学技術が優れていることが世界に証明されました。優秀な科学者を輩出するためにも、日本の未来を担う子供たちが科学への関心を高めるきっかけとなる絵画展は大きな意義を持っています。

沖縄県立博物館・美術館講堂で行われた表彰式には保育園から中学校まで多くの生徒たちが集まり、受賞者は壇上で表彰状を受け取りました。受賞作品は沖縄県立博物館・美術館県民ギャラリーに展示され、東京で開催される全国展「第37回未来の科学の夢絵画展」へも出品されることとなっています。



【主催者あいさつ】
(一社)沖縄県発明協会 新垣昌光会長



【審査報告】
審査委員長(画家・沖展会員)
大城護氏



会場には入賞作品の展示もあり、入賞されたお子さんのご家族も多く訪れ、伸び伸びとした表現で描かれた作品を観覧されていました。

沖縄県教育委員会 教育長賞

「雨雲・雷雲・嵐すいとるソウ」
那覇市立泊小学校2年 赤嶺 優貴さん
「近未来の無人飛行機 消防救急システム」
糸満市立糸満南小学校3年 上原 一路さん

那覇市長賞

「生ゴミクイナ」
那覇市立与儀小学校4年 津波古 麻衣さん
「にじ色花ライト」
那覇市立泊小学校5年 上江洲 朋子さん

●佳作 29点
●入選 65点 合計 104点

沖縄県発明協会 会長賞

「コピースプレー」
那覇市立若狭小学校1年 知念 学歩さん
「アメンぼシューズ」
那覇市立泊小学校3年 上江洲 かほ子さん
「スーパー台風を小さくする氷の種」
那覇市立若狭小学校3年 木山 仁来さん
「かけるだけ!! 目的地まで楽々案内メガネ」
那覇市立若狭小学校3年 黒島 日向さん
「進め! 海底探索機」
那覇市立与儀小学校4年 屋嘉部 遥菜さん
「衛星災害救助」
那覇市立銘苅小学校5年 大城 円響さん

雇用支援助成金 & 事業主支援制度 活用の相談実施中!

平成26年度雇用支援施策相談事業

事業主向け 雇用相談窓口!

無料

無料
訪問相談
もあります!

使える!

様々な分野で活用できる助成金や
事業主支援情報を提供!

役立つ!

新規雇用、創業・設備投資

- 特定対象者の雇入れ
- 新規事業所を設置し従業員の雇入れを行う
- 雇入れを伴う創業経費の支援

働きやすい職場作り

- 仕事と家庭の両立への支援
- 有期契約・派遣・短時間労働者の雇用安定
- 障害のある社員への支援

従業員への訓練など

- 従業員に対しての職場訓練を行う
- 若年者へ職業訓練をし、正規雇用する
- 県外への研修経費の支援

創業する前
に聞いて
よかった!

社員の訓練・育成の
助成金があって
よかった!

新規雇用
にも支援制度が
活用できた!



相談
受付

月～金 / 9:00～17:00

セミナーや巡回相談も開催!
お気軽にお問い合わせください。

お問
い合
わせ

雇用支援施策相談事業事務局
(グッジョブ相談ステーション)

無料駐車場有 県民広場地下駐車場(お帰りの際に無料チケットを発行)

〒900-0021 那覇市泉崎1-15-10 旧ろうきん本店1F(グッジョブセンターおきなわ内)
Fax. 098-941-2044 E-mail: info@goodjob-station.info



グッジョブ相談ステーション

検索

最新情報を発信



Tel.098-941-2044



予約すると待ち時間がなく便利! 電話やEメール、Skype(要予約)での相談も可能です。

琉球大学工学部後援会からのお知らせ

高解像降雨レーダーによる ゲリラ豪雨の観測

琉球大学工学部情報工学科教授
玉城史朗(shiro@ie.u-ryukyu.ac.jp)



1. はじめに

南西諸島や小笠原諸島は我が国唯一の亜熱帯地域です。その南西諸島の大半の面積を有する沖縄県の島々は、東西400km、南北1400kmに存在しています。ところで、近年の地球温暖化は、さまざまな異常気象をもたらしており、本県においても、台風、集中豪雨、落雷、少雨現象が頻発しています。これらの災害による農作物の被害は甚大で、どのようにして、それらの災害を予測し、事前に対策を講じるかは重要な課題となります。私の研究室では、「工学が農業にどのような貢献をできるか」を大きな使命として、自然エネルギー、環境計測、作物の品質管理等、様々な分野の研究を行っています。本稿では、降雨レーダーを用いて、ゲリラ豪雨を観測し、その動きを予測するという研究紹介を行います。

2. ゲリラ降雨の観測

まず、ゲリラ豪雨の特徴は、降雨の範囲が局地的で突発的に発生するため予測が非常に困難です。ですから、まず、その豪雨を観測するために、株式会社ウェザーニューズ社との共同研究で降雨レーダーを設置しました。降雨レーダーと観測システムを図1に示します。

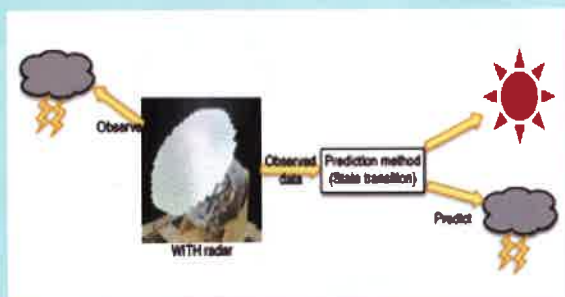


図1. 降雨レーダーシステム

次に、ゲリラ降雨の様子とその時のレーダー画像を図2に示します。図2(左)は2010年9月13日に沖縄県北谷町を中心とした局所的集中豪雨を琉球大学工学部一号館屋上から観測した画像です。1(右)はWITHレーダーで計測した地域的な降水量です。降水量は、青色から赤色に推移するにつれ増大しています。従って、地図上の赤色の部分が2(左)の写真で観測された集中豪雨の領域です。この領域は、降水強度30mm/h以上でした。



図2. ゲリラ豪雨とそのレーダー画像

ゲリラ豪雨による被害は全国的に多発しており、また、これによる被害を未然に防止するためには、可能な限り発生地点と降水量を予測する必要があります。ところで、ゲリラ豪雨のような集中的な降雨の予測時間は、長くても30分前が一番重要だと言われています。すなわち、豪雨の現象を30分前に予測可能なら、様々な対策を講じることが出来るということに起因しています。典型的な降雨の誕生から消滅までの時間変化を図3に示します。この図では、降雨が誕生、発達、減衰、消滅するまでが約40分程度でした。

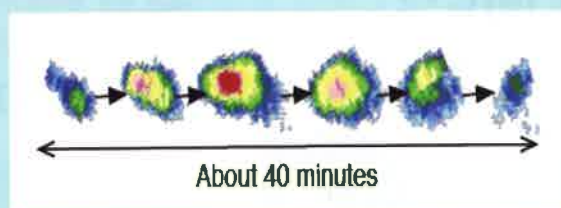


図3. ゲリラ降雨の誕生から消滅まで

3. 今後の課題

私たちは、これまで、このレーダーによる観測データを基に自己回帰モデル(時系列モデル)を用いて解析を行い降水強度の予測を行ってきました。この手法では、物理的なモデルによる解析法ではなく、統計的パラメトリックモデルで推定を行っています。しかし、この予測手法では、長時間後の降水強度を予測するためには、予測値を用いての予測となるために、推定制度が悪くなります。そこで、長時間予測に耐える新たな予測手法の開発が求められており、その課題に取り組んでいます。

お問合せ先

琉球大学工学部後援会事務局(環境建設工学科内)

TEL:098-895-8655・8676 FAX:098-895-8677



『海洋ロボットコンテスト・プレ大会』 最優秀賞 AUV部門

【開催目的】

沖縄県は広大な海域を有しており海底熱水鉱床や潮力・波力等の多様な海洋資源が存在しています。沖縄21世紀ビジョンにおいても次世代のリーディング産業の一つとして海洋産業を掲げています。これらを踏まえ、沖縄における海洋資源分野の研究・教育等の活性化を目指し平成26年12月6日「沖縄海洋ロボットコンテスト・プレ大会」が開催されました。



チームOPCメンバーと大会当日の様子



沖縄職業能力開発大学校(以下、沖縄能開大)は、『海洋ロボットコンテスト・プレ大会』にTeam OPCとして参加しました。参加チームは、遠隔操作(ROV)部門6校、自律航行(AUV)部門5校、フリー部門1校です。大会当日、波の高さ4メートルと悪天候で参加チームの中には、ロボットが波に流されてコース外へ航行したり、海水が浸水したりタイアとなる学校もありました。その中で、沖縄能開大の『なんくるないさ〜号』は、コース途中のブイに引っかかるアクシデントもありましたが、無事にゴールの輪に浮上することができました。結果は、琉球新報の記事にもあるように、沖縄能開大が自律型ロボットAUV部門で唯一ゴールを果たし、最優秀賞を獲得しました。最後になりましたが、大会参加にあたりご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

の「北北」海中で動くロボットに、技術者や研究者向上を目的に「電機」ロボットコンテスト・フューチャ（美浜町黄金会館）が6日、美浜町町民会館の3F近隣の体育館で開かれた。遠隔操作のROV（自律航行型ロボット）、フリーの部門に県内の大中学、児童能力開発会など約40名の1台が参加した。大会関係者によると、海洋ロボットの大規模な普及が、本大会を通じて可能となる予定だ。

ROVはパイに型取られた水深約1.5メートルの海中で10分間、なす線を目標とする。制限にも拘わらず、コースを外れ、制限時間を超え、リタイアが相次ぐ中、ROV部

海のロボコン初開催

北谷 沖縄職開大が最優秀賞

[illegible]

琉球新報 平成26年12月7日

*地域企業の皆さんと一緒に“ものづくり”を行っていきたくと考えています。技術的相談等お気軽にお寄せください。

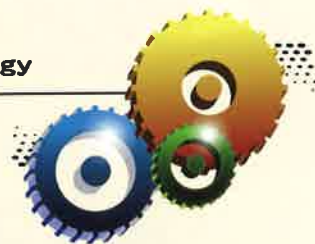
お問合せ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL.098-934-6282 FAX.098-934-6287

●メルマガ会員募集中 <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html>

●URL <http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>



沖縄振興開発金融公庫と「産学連携に係る協力推進に関する覚書」を締結しました

11月11日(火)に那覇市にある沖縄振興開発金融公庫(以下、沖縄公庫)本店にて、「産学連携に係る協力推進に関する覚書」を締結しました。本覚書は、本校の研究成果等と沖縄公庫の有する情報やノウハウを相互に協力して活用し、沖縄地域の産学連携を推進し、地域中小企業及び地域経済の活性化に貢献することを目的としております。

当日は、始めに本校伊東繁校長ならびに沖縄公庫の譜久山當則理事長より、覚書締結の意義・趣旨等についての説明があり、その後、写真撮影や質疑応答が行われ、参加いただいた報道機関関係者からは、期待される効果や展望等について、様々なご質問をいただきました。

また、伊東校長からは「企業志向の高い学生のためにも、沖縄公庫との連携を生かしていきたい」との話し

があり、今後は沖縄公庫と定期的に協議や情報交換を重ね、相互協力のもとにベンチャー企業の発掘や事業化に向けての協力体制を構築していくことを確認し、無事に閉会となりました。



沖縄公庫の譜久山當則理事長(左)と沖縄高専伊東繁校長

株式会社カヌチャベイリゾートと「連携に関する協定」を締結しました

12月10日(水)本校にて、株式会社カヌチャベイリゾート(以下カヌチャベイリゾート)との「連携に関する協定」を締結しました。本協定は、相互に緊密に連携することにより、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進し、沖縄県の経済産業の振興・発展のための相互交流と協力を行うことを目的としております。

当日は、始めに本校伊東繁校長ならびにカヌチャベイリゾートの白石武博代表取締役社長より、覚書締結の意義・趣旨等についての説明があり、その後、協定書への署名やロボットデモ、質疑応答などが行われ、参加いただいた報道機関関係者からは、期待される効果や今後の展望等について、様々なご質問をいただきました。

また、伊東校長からは「これまでの出前授業などの地域貢献、人材育成の取組みに加え、観光という沖縄の成長産業の中での科学の生かし方を探していきたい」との話しがあり、今後は春休みや夏休みなどの長期休暇を活用し、カヌチャベイリゾートにてロボットづく

りや科学体験イベント等を行うほか、観光産業での科学や情報技術の活用方法を探り、双方の成長を図っていくことを確認し、無事に閉会となりました。

沖縄工業高等専門学校と株式会社カヌチャベイリゾート
連携に関する協定締結式



署名後の協定書を手に記念撮影

左から(株)カヌチャベイリゾート 比嘉一幸企画販売課長、
白石武博代表取締役社長
沖縄高専 伊東繁校長、伊東昌章地域連携推進センター長

お問合せ先

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局(担当:喜屋武)

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地

TEL:0980-50-0133 / FAX:0980-55-4012 E-mail:sangaku@ml.cosmos.ne.jp



どんな形でも自動で塗装できます!

—形状認識自動塗装装置の開発—

背景

みなさま、『粉体塗装』をご存じでしょうか。粉体塗装とは物体の表面に粉末の塗料を付着させ、加熱によって一様な皮膜を形成させる方法です。配電盤を作る際、この方法を用いて塗装を行っています。しかし、多種多様なため、作業者が手作業によって塗装しています。そのため作業者の技量に依存する部分が大きく、また不着する粉体塗料が50～60%に留まるなどの問題がありました。そのため、いろいろな形を判断して、自動で塗装する機械装置と塗料の再利用が求められていました。



現在の塗装様子

内容

そこで、(株)大成を中心にブルーイングテクノロジー(株)と沖縄県工業技術センターが研究チームを作り【形を判断して自動で塗装する装置】の開発に取り組みました。当センターでは主に粉体塗料の回収方法と回収した塗料が再利用できるか評価を行いました。

塗料の回収方法はパソコンを用いて、塗装を行うブース内の流れのシミュレーションを行い、塗料の回収率を80%以上を目標に設計を行いました。また、回収した塗料を用いて塗装を行い、再利用することができるか評価を行いました。

成果

回収率の目標を80%以上としていましたが、今回の研究では73%でした。回収した塗料は、さびの発生加速試験や塗膜の剥離試験を行い評価した結果、再利用できることが確認できました。

作業員A 新品塗料	作業員B 新品塗料	作業員A 再生塗料	自動塗装機 新品塗料	自動塗装機 再生塗料
400時間	400時間	400時間	400時間	400時間
さび発生等の異常無し	さび発生等の異常無し	さび発生等の異常無し	さび発生等の異常無し	さび発生等の異常無し

さびの発生加速試験結果

今後の展開など

まだ目標の回収率に届いていませんが、配管の形を変更したりすることで回収率が上がると考えています。また、カメラの導入に費用がかかり、制作費が高くなってしまった事など改善する箇所はありますが、1～2年後には商品化できたらと考えています。



開発した自動塗装機

お問合せ先

沖縄県工業技術センター 企画管理班(担当:花ヶ崎)
TEL:098-929-0111 FAX:098-929-0115 E-mail:hangskit@pref.okinawa.lg.jp



沖工連青年部会 会員募集中!

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格 / 公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会 費 / 入会金10,000円、年会費20,000円
- 会 員 数 / 22名(2014年9月現在)



お問合せ先:公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当:小浜)

公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄

の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか?

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

●お問合せ先
公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当:座間味



YOU-KURU

